

稲作情報

No.11 「飽水管理～刈取予想」

J A えちご中越 さんとう営農センター
TEL: 0258 (41) 2887

令和6年 7月31日

水稲は最も水分を必要とする「出穂期～穂ぞろい期」を迎えています。

高温気象に備えて『こまめな水管理』を徹底しましょう!!

コシヒカリの生育状況 (7月30日調査: 調査地点平均値)

項目	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
寺泊	5/07	102.6	378	13.2	33.4
和島	5/ 8	105.4	435	13.8	34.1
出雲崎	5/ 5	104.9	306	13.0	33.0
与板	5/11	098.1	360	13.0	28.9
三島	5/ 5	100.5	356	13.0	34.1
越路	5/12	102.6	406	13.7	33.1
管内平均	5/ 8	102.9	385	13.4	33.2
指標値	5/10	92.0	360	12.8	33.0

- ・草丈: 指標値比 112% 「長い」
- ・葉数: 指標値差 +0.4 「早い」
- ・葉色: 指標値差 +0.2 「並」

- ① 7月下旬以降も依然として平年より気温は高く、降雨量もやや多いことから生育は早まり、草丈は長くなっています。
- ② 葉色は並程度となっていますが、十分な穂肥対応ができていないほ場(特に一発基肥ほ場)では、葉色が急激に低下しています。

北陸地方の向こう1カ月 (7/27~8/26) の天候予想: 【新潟地方気象台 7/25 発表】

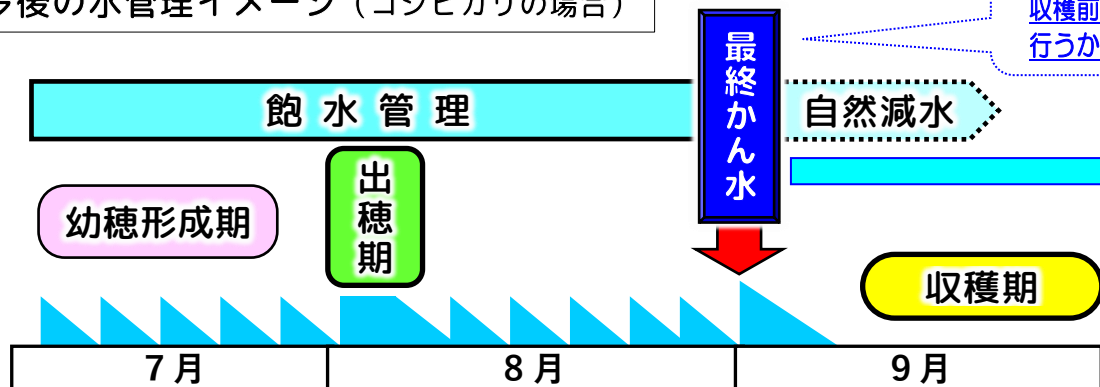
- ◎ 平均気温: 高い → 暖かい空気におおわれやすく、期間の前半は気温がかなり高くなる見込み
- ◎ 日照時間: 並み・降水量: 並又は多い → 期間のはじめは前線や湿った空気の影響を受けやすい
- ◎ 週別の気温 → 1週目 (7/27~8/2) は平年より高い確率が 80%、2週目 (8/3~8/9) は高い確率が 80%、3~4週目 (8/10~23) は高い確率が 70%

1. 登熟期間の水管理

- × 極端に大きなヒビ割れ (断根を助長)、長期間にわたるタメ水 (根腐れを助長) は厳禁です。
- 登熟期間は、平年より気温が高くなる気象予報です。田面が強く乾くことのないよう飽水管理を徹底します。高温障害を軽減するため、こまめにかん水しましょう。
- 地耐力が確保できる限り、なるべく「登熟後期まで」飽水管理を継続することにより、土壌水分を維持しましょう。



今後の水管理イメージ (コシヒカリの場合)



*最終かん水とは 収穫前の最後に行うかん水です。

豊かな水で育む「さんとう産米」 ↓ 地域の水利条件に応じた「飽水管理」に取り組みましょう!!

2. 出穂期と刈取適期(予想)

～さんとう地区 全域版～

コシヒカリの出穂が始まっています。(管内全体のコシヒカリ出穂期: 7/28~8/7 (平年比3日早い) → 北部地区: 7/28~8/3、中部地区: 8/1~8/7、こしじ地区: 7/30~8/7)

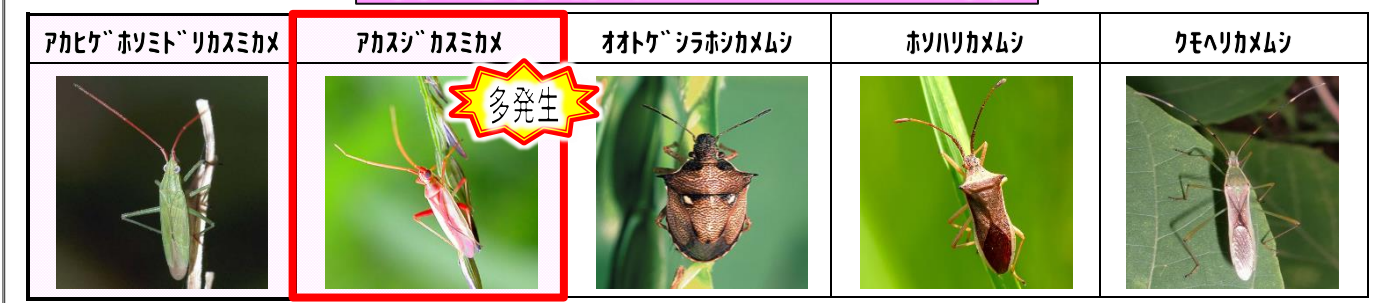
下表の刈取適期(予想)を参考に適期収穫に向けた刈取作業計画を立ててください。また、作業中の事故・熱中症にも注意しながら刈取作業(機械の点検・清掃)の準備を進めてください。

品種名	出穂期(予想)	刈取適期(予想)	積算温度の目安
ゆきみらい	7月12日～7月16日	8月16日～8月20日	975°C
五百万石	7月14日～7月20日	8月18日～8月25日	
わたぼうし	7月14日～7月23日	8月18日～8月28日	
ゆきん子舞	7月20日～7月24日	8月25日～8月29日	
こしいぶき	7月22日～7月28日	8月27日～9月3日	
ゆきの精	7月21日～7月28日	8月26日～9月3日	1,000°C
たかね錦	7月19日～7月30日	8月25日～9月6日	
こがねもち	7月24日～7月31日	8月29日～9月6日	1,000~1,050°C
コシヒカリ	7月28日～8月7日	9月5日～9月17日	
越淡麗	8月7日～8月15日	9月17日～9月27日	1,050~1,100°C
千秋楽	8月7日～8月15日	9月27日～10月5日	
新之助	8月6日～8月15日	9月15日～9月27日	1,100~1,200°C
あきだわら	8月6日～8月13日	9月20日～9月29日	
にじのきらめき	7月30日～8月06日	9月11日～9月20日	

* 刈取適期(予想): 長岡アメダスデータの積算で算出(7月29日までは本年値、以降は平年値)
* あくまでも目安です。今後の天候やほ場ごとの出穂期・栽培条件等により前後します。

3. 斑点米カメムシ対策

☠ 斑点米被害を発生させるカメムシ類 ☠



スタークル粒剤・豆つぶ剤散布区域(共同防除の除外区域)では、ほ場ごとの散布適期【出穂期の5日後～7日後(穂ぞろい期)】に薬剤防除しましょう。また、越冬成虫(次世代成虫)発生密度の低減を目的として、出穂・収穫後も引き続き「イネ科雑草種子が結実しない間隔」で雑草管理を徹底して下さい!!

注意 高温気象下にもかかわらず、白く乾いているほ場・こまめに入水されていないほ場が見受けられます。

徹底! 「最終かん水日」は 出穂後25日以降を目安とし、あわせて 暗渠栓の開放を可能な限り遅くします。

～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～
次回稲作情報: 8月中旬「刈取適期・収穫期対策」(予定)

裏面ページへ続く

